



Tanabe East Rotary Club in 2015-16

2015-16年度RI会長: K.R. ラビンドラン
 第2640地区ガバナー: 辻 秀和
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 坂本 正人
 幹事: 畔田 実
 会報: 本田 耕二 委員長

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
<http://tanabe-east-rc.com/>
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~
 ビジターフィー ¥2,000



○本日の唱歌

「あゝ田辺東ロータリー」

唱歌委員 伊藤 博之 君
 作曲: 古家 通代
 作詞: 青木 泰秀



○出席報告

会員数 46名 義務免除 2名 本日の欠席者 10名

本日出席率 77.27% 2月3日の修正出席率 90.91%

○にこにこ報告

(敬称略)

◇本日の卓話頑張ります! 伊藤博之



◇2月3、10日の例会不参加を連絡
 せず申し訳ありませんでした。

丸山勇人



◇伊藤博之君、卓話頑張ってください。

後藤信博・本田耕二・片井貢・木村壽一・小山實・
 畔田実・丸山勇人・丸山博之・森本修至・中嶋伸和・
 那須壽子・阪本邦夫・坂本正人・大久保勝也・
 岡本博・武田静也・竹村英一・谷中順次郎・山本亘・
 上原俊宏・早稲田清司・吉田和枝・吉本正美

◇奥様誕生日

北村圭司



◇お花いただきます。

玉置和男



◇上原先生、ありがとうございました。

“小”愛須(ホワイトスペース社長)
 も感激していました。

“大”愛須こと、愛須勝章



◇先週の田辺東ゴルフコンペで優勝し
 ました!(^_^)! 橋本 隆



○会長報告

坂本 正人



■本日のプログラムは会員卓話として、
 伊藤博之君です。後ほど宜しくお願い致します。

■2月24日(水) 堺市のガバナーエレクト事務所に於いて、次期ガバナー補佐、地区委員長会議が開催されます。次期ガバナー補佐として坂本正人が出席して参ります。当クラブの例会日と日時が重なりますので、例会進行は佐田一三副会長にお願いいたします。

- 2月10日の定例理事会のご報告を致します。
- ◎4月2日(土) 講演会について…役割分担の確認。
3月30日(水)の例会を4月2日(土)に日時会場変更し、IM 1組 7クラブ合同例会とする。
- ◎地区大会選挙人会議 信任状について…坂本正人 会長、畔田実 幹事を信任、承認。

- ◎例会場移設特別委員会について…再度検討。
- ◎退会届について…受諾しました。
- ◎田辺はまゆうRCとの合同例会を今年度中に開催することについて…承認。

〇幹事報告

畔田 実



■回覧

- ◎週報「田辺はまゆうRC」
- ◎「ひじょうま報告173号」
- ◎「ハイライトよねやま191号」
- ◎2015-2016年度 辻ガバナー事務所より「ガバナー月信2月号」「地区大会ご登録の御礼」「国際ロータリー理事ノミネー指名委員推薦・地区大会審議事項 追加」
- ◎青少年交換留学生 Anggun Yurna Nudesiaさんよりレポート「5ヶ月」
- ◎「2016-2017年度版ロータリー手帳の申込表」を今年度と同じサイズで製作しています。申し込みをまとめて注文します。支払いはクラブ経費です。

■例会日時変更

- ◎白浜RC 2月26日(金)→2月28日(日) 9:30～
場所：和歌山県民文化会館

■メイクアップ

- ◎2月10日(水)定例理事会
畑地誠君、畔田実君、前田吉彦君、野村憲司君、佐田一三君、坂本正人君、渡口眞二君、山本亘君、谷中順次郎君、早稲田清司君

Rotary

2015-2016

国際ロータリー第2640地区

地区大会の御案内

2016年2月27日(土) 場所：ルミエール華月殿
場所：ホテルアバローム紀の国

2016年2月28日(日) 場所：和歌山県民文化会館大ホール

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

会員卓話

「運用について」

伊藤 博之 君



「お金に働いてもらう」時代です。

「お金に働いてもらう」とはどういうことなのでしょう？

少子高齢化が進む一方、長く続いた低成長やデフレ経済で国の財政は年々悪化しています。さまざまな政策が打ち出されていますが、現役世代を中心に子育てや年金など将来への不安が増大しつつあります。働いてお金を得るだけでなく、そのお金にもどうやって働いてもらうか？つまり、資産運用などによる自助努力が必要な時代になってきています。

「お金を働かせる」うえで、まず知っておきたい2つのポイント

Point 1 お金の価値は
不変ではありません。

経済がインフレになってもデフレになっても
お金と物の価値の関係は変わります。

インフレ

- 物価が上がる
- お金の価値が下がる
- 好況下での発生が一般的
- 一般的に金利は上昇する

デフレ

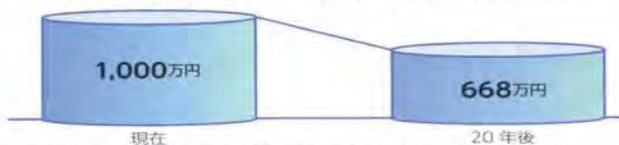
- 物価が下がる
- お金の価値が上がる
- 不況下での発生が一般的
- 一般的に金利は下がる

デフレ経済の下ではお金の価値は物の価値を上回るので運用よりもお金を「守る」ことが重視されます。一方、インフレ経済では一般的に金利は上がりますが、物価の上昇率がそれを上回るのでお金の価値は目減りしていきます。

今、デフレ経済からの脱却が話題になっていますが、もしインフレへと転じた場合には、お金の価値の目減りを防ぐため、投資などの運用が必要となります。

●インフレ率によるお金の価値の変化

インフレ率2%の場合 計算式：1,000万円×(0.98の20乗)



インフレ率2%が続くとすれば、現在の1,000万円は20年後では668万円の価値にしか相当しません。

為替の水準で変わる 私たちの生活や企業業績

円高

- 円の対外価値が高くなる
- 輸入品が安くなる
- 円ベースの海外資産目減り
- 輸入産業の企業業績向上

円安

- 円の対外価値が低くなる
- 輸入品が高くなる
- 円ベースの海外資産増価
- 輸出産業の企業業績向上

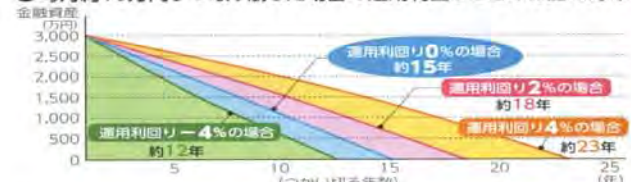
日本円で100万円もっている場合、1米ドル100円だとすると1万米ドルに交換できます。10円の円高では11,111米ドルに交換できます。円高が長く続き、悪いことばかりがニュースになりますが、円高の下では輸入品は安くなり、国内(日本)企業が外国企業を安く買収できるなどのメリットも生じます。投資の際は為替にも注意しましょう。

Point 2 お金には
「寿命」があります。

賢く「お金に働いてもらう」ことをしなければ
お金の寿命は短くなります。

お金にも「寿命」があることをご存じですか？下の図を見てください。退職後手元に3千万円あるとして、毎月約16万円ずつ取り崩した場合、15年余りで残高はゼロとなります。一方、2%の利回りで運用した場合は約18年、4%だと約23年とお金の寿命は大きく伸びます。もちろん高い収益を求めると、それだけリスクも大きくなります。大切な資金をどう長生きさせるか、しっかりと考えましょう。

●毎月約16万円ずつ取り崩した場合の運用利回りごとのお金の寿命



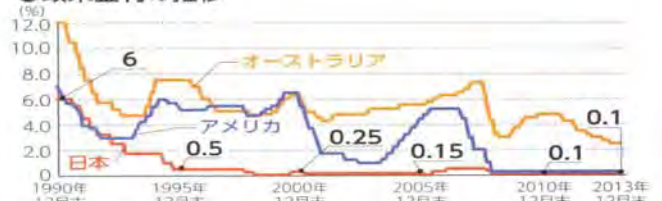
※[夫婦2人のセカンドライフに必要な資金]から「給与所得者世帯の公的年金受取額」を差し引いて算出

出所：(公財)生命保険文化センター 平成22年度「生活保障に関する調査」および厚生労働省「平成23年度厚生年金保険・国民年金事業の概況」をもとに作成

政策金利は極めて低い水準が 続いています。

下の図でもわかる通り、日本ではここ20年近く政策金利はとも低い水準で推移しています。これではお金に長生きしてもらうことは困難です。今後、経済が回復し、インフレに転じた場合、金利の上昇は期待できますが、物価の上昇率が金利を上回った場合に、資産価値は目減りします。賢い運用を心がけたいものです。

●政策金利の推移



※このグラフは過去の短期金利の推移を示すものであり、将来の金利上昇について示唆あるいは保証するものではありません。

出所：みずほ証券調べ

「お金に働いてもらう」ためには「サポーター選び」が大切です。

お金は何もしないままでは働いてはくれません。さまざまな条件が満たされてはじめて有効に働きます。しかし、投資知識や情報の収集力などは人それぞれです。また、投資対象や運用方法は多様化の一途で、多くの方は「わからない」「迷ってしまう」のが現状でしょう。そこで大切なのは「サポーター選び」です。みずほ証券は「資産運用サポートのプロ」として、長い経験と豊富な実績・人材を備えています。

有効に「お金に働いてもらう」ための6つの条件

条件1 豊富な選択肢

自分の投資知識や資金性格に合わせて数ある中から投資対象を選ぶことが大切です。

「資産運用」と一口にいても、投資の対象や運用方法はさまざまです。

銀行や郵便局などの預貯金、株式・債券・投資信託などの有価証券、不動産などもその対象です。しかし、何より大切なのは自身の投資知識や資金性格を見極めること、そして選択の対象が豊富であること、その中で自分にあった投資対象を選択することです。証券会社では国内株式だけで3,500銘柄以上、投資信託も数多く取りそろえています。いわば証券会社は「投資のデパート」なのです。

条件2 投資知識

投資における最大の武器は知識です。適切な投資判断ができる知識を身につけましょう。

預貯金が多いといわれている日本では、ほとんどの方にとって資産運用はまだ「遠いもの」なのかもしれません。

しかし、「お金に働いてもらう」ことが必要な時代となった今、証券投資は有力な選択肢です。もちろんそのためには自己責任で判断できるための投資知識が必要となります。

みずほ証券は初心者の方へのサポート体制を整えていることはもちろん、投資入門にふさわしい商品やサービスを数多く取りそろえています。

条件3 情報

「情報」を活用するには、収集力・分析力・判断力の3つの要素が不可欠です。

投資の武器は知識と情報です。インターネットが高度に発達し、世界経済が複雑にからみ合って影響し合うようになった今、情報の重要性はますます高まりつつあります。

インターネットが発達し情報は手に入れることよりも、さまざまな情報の中から投資に必要な情報を選択し、その情報の本質を分析し、投資判断に活用することが不可欠な時代となっています。そこで大切なのが経済・企業情報分析のプロであるエコノミストやアナリストなどからの情報の活用です。みずほ証券の情報発信力はマーケットで高い評価をいただいています。

条件4 流動性(換金性)

たとえ有利な投資対象でも、流動性(換金性)がなければ適切とはいえません。

投資対象はいろいろありますが、その選択の際に必ず考慮すべきは「流動性(換金性)」です。

「流動性リスク」という言葉がありますが、資産を現金に換えようとした場合、売買が少ないために市場ですぐに売れなかったり、希望した価格で売れなかったりするリスクのことをいいます。投資の際は収益性だけでなく、この流動性にも十分な配慮が必要です。

条件5 公正な価格

投資はオープンで一定の規模・参加者、そして値決めのルールが明確な市場で。

上場株式や上場投資信託は、国内外の数多くの投資家が自由に参加できる開かれた市場で、一定のルールに基づき売買されます。だからこそ公正な価格が成立するともいえます。

なお、投資の際には、自分の仕事などを通じて特別に知り得た未公表の重要事実に基づく売買取引により利益を上げること(インサイダー取引)は禁止されているなど市場のルールにしたがって「お金に働いてもらう」ことが強く求められます。

条件6 運用損益に対する税制

運用損益に対する税制上の取り扱いと今後の税制改正に十分注意する必要があります。

現在の税制では、投資対象が「株式・株式投資信託等」か「債券・公社債投資信託等」かにより、その運用損益(配当金・利子・分配金および売却損益など)に対する課税上の取り扱いが大きく異なりますが、2016年以降は、金融所得課税の一体化の拡充により、上場株式等と特定公社債等についてはほぼ同様の取り扱いとなるほか、今後も税制改正が行われる可能性がありますので、投資対象資産の選択にあたっては、これらの改正の動向にも十分注意する必要があります。